

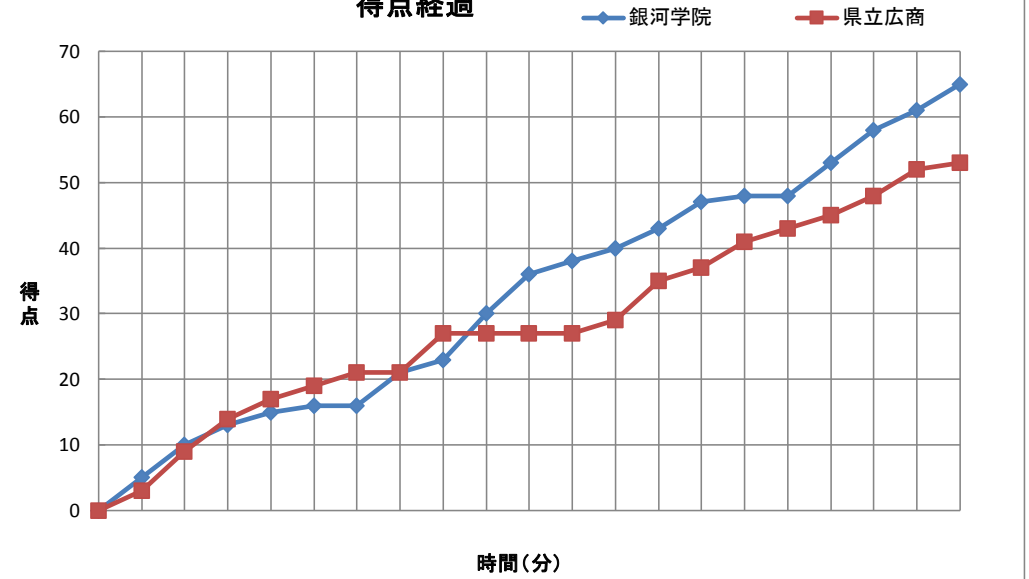


第74回広島県高等学校総合体育大会
バスケットボールの部

個人トータル表

男子		令和3年6月6日	11:00	開始												
3位決定戦		福山大学	0													
◎ 銀河学院 (広島県)	65	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>12</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>12</td></tr> </table>	16	1st	19	20	2nd	8	12	3rd	14	17	4th	12	53	県立広商 (広島県)
16	1st	19														
20	2nd	8														
12	3rd	14														
17	4th	12														
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則			
4	門田 凌和	0	0	0	0	0	2	川西 大翔	-	-	-	-	-			
5	山邊 功輔	4	0	2	0	1	5	岡村 惇希	-	-	-	-	-			
6	藤原 志苑	11	3	1	0	2	* 7	兼田 翔太	7	0	2	3	0			
* 7	谷岡 優	6	2	0	0	4	8	小笠原 諒	-	-	-	-	-			
8	山本 蓮	5	1	0	2	1	9	山田 健	-	-	-	-	-			
* 9	貞清 玲央	11	0	5	1	3	11	三好 智元	-	-	-	-	-			
10	中口 昂星	-	-	-	-	-	13	二澤 祐太	-	-	-	-	-			
12	望月 洸太	-	-	-	-	-	14	荒金 総一朗	-	-	-	-	-			
16	平門 峻綺	0	0	0	0	0	* 18	山田 瑠偉	4	0	2	0	0			
17	高村 朋成	0	0	0	0	0	24	佐々木 陽菜太	-	-	-	-	-			
* 18	田附 伊吹	8	0	4	0	4	* 31	小竹 健太	4	0	1	2	0			
20	塩出 瑞朔	-	-	-	-	-	* 33	新谷 昌斗	18	1	5	5	0			
* 21	山下 秀太	10	2	2	0	2	54	坂本 哲翔	-	-	-	-	-			
22	余島 壮磨	3	0	1	1	1	* 56	礪本 涼太	20	1	4	9	0			
* 23	梅香 虎志	7	1	2	0	2	80	中濱 大和	0	0	0	0	1			
コーチ	土橋 一美					0	コーチ	村井 龍太郎					0			
Aコーチ	吉津 孝昭						Aコーチ	住本 恭一								
合計		65	6	12	3	15	合計		53	1	10	10	0			
主審: 山住 泰光																
副審: 熊本 裕一朗																
副審: 宮崎 拓																

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	16:02	:	37:57	:	:	:
TeamB	13:38	17:38	33:31	37:57	:	:

〔戦評〕 スタートは、銀河学院が#7、9、18、21、23。県立広商が#7、18、31、33、56。
 1P、銀河学院はマンツーマンディフェンス、県立広商はハーフコート2-3ゾーンディフェンスでゲーム開始。県立広商は#56のスピードあるレイアップシュートで先制。対する銀河学院も細かいパスによる速い展開で#21、#7の3Pで得点をししていく。県立広商はゾーンディフェンスから確実にリバウンドを制して速攻へ繋げ、得点を伸ばしていく。16-19で広商がリードし終了。
 2P、立ち上がりは両チームとも得点ができない時間が続き、苦しい展開になる。その中でも、銀河学院は#23が要所で3Pを決め、食らい付いていく。銀河学院#21が速攻から力強いドライブインで得点し、チームを勢いづける。対する県立広商は、1対1からのミドルシュートで得点をしていくも、ディフェンスリバウンドが取れない時間帯が続き、銀河学院のインサイド陣に得点を許してしまう。銀河学院はその後もビッグマンの体格を活かしたハイロープレー等で徐々に得点を重ねていく。残り2分、県立広商はタイムアウト請求。何とか立て直しを図りたいところだが、銀河学院の勢いは止まらず、#18のゴール下、#23の速攻と連続得点をし、点差を大きくする。36-27で銀河学院がリードし終了。
 3P、点差を縮めたい県立広商は、#33のドライブインを皮切りに、#56が連続得点を重ねる。勢いの乗ったディフェンスでリバウンドを確実に取り、全員で速攻を展開し、リズムを取り戻す。対する銀河学院も、県立広商のゾーンディフェンスに対し広くスペースを確保して内外共にバランス良く得点をしていく。終盤は激しい攻防の中で、両チームともファウルが重なりフリースローで得点していく展開となる。48-41で銀河学院がリードのまま終了。
 4P、開始から県立広商はディフェンスでのプレッシャーを続け、銀河学院の得点を許さない。県立広商は速い展開からファウルを誘い、フリースローでの加点により点差を縮める。さらに、県立広商はスリークォーターから1-2-2ゾーンディフェンスを仕掛ける。その中でも、銀河学院は大きくパスを回し、落ち着いてオープンシュートを狙っていく。残り4分、両チーム共に譲らない展開の中で、銀河学院#7が3Pを確実に決め、点差を二桁に戻す。残り2分、県立広商は引き続き1-2-2ゾーンプレスを仕掛けるが、銀河学院は上手くスペースを使ってオフENSEを展開。点差は縮まらない。65-53でゲームセット。
 銀河学院が勝利し、3位となり中国高等学校バスケットボール大会への出場権を得た。

戦評: 西尾 友貴 記録: